



▲権現堂堤修復絵馬カットアウト模型

## 幸手市郷土資料館開館までの軌跡

幸手市史完結に至るまでの、主な出来事をご紹介します。

10月23日(火)午後1時オープンの郷土資料館では、幸手市史に関連の深い数々の展示品をご覧ください。

問合せ 社会教育課  
☎(43)1111 内線 643  
郷土資料館開設準備担当  
☎(47)2521

1984.9

1986.10

1988.9

1990.12

1998.10

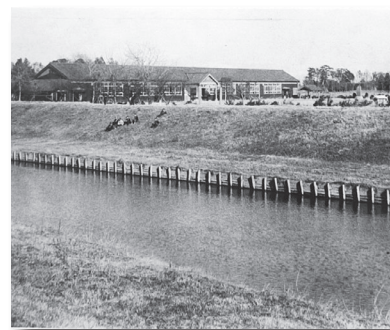
2003.3

昭和59年9月

▶民具資料館開館

昭和24年に建てられた元の吉田中学校校舎を民具資料館として開館しました。

昭和55年に始まった『民具を集める運動』をきっかけに市民のみなさんから寄贈された民具資料を中心に収蔵・展示しています。



昭和61年10月

▶市史編さん係発足

昭和61年4月に町史編さん係を発足し、同年10月の市制施行に併せて、市史編さん係が発足しました。

この後、古文書所在調査や行政文書の収集など、市史編さん事業を行っていきまし



昭和63年9月

▶民俗調査開始

写真は「平野の辻縄」で、春の訪れを告げる行事の一つとして、藁で長さ3メートルほどの蛇を作ります。

ムラ(地区・集落)への災厄の侵入や、清浄な状態を保つ役割の期待が込められています。



平成2年12月

▶遺跡発掘調査開始

幸手市で初めてとなる、遺跡発掘調査が行われました。

平成8年には、夏休み親子発掘教室も行われ、少しずつ丁寧に掘っていくと、なんと！やじり(矢尻)などが発掘されました。



平成10年10月

▶縄文時代の住居跡発見

榎野地原遺跡発掘調査で、市内で初めてとなる縄文時代の住居跡が発見されました。

約6千年前の貝塚を伴った住居跡が確認され、土器片多数とカキ・ハイガイ・アサリなどの貝が出土するなど、話題となりました。



平成15年3月

▶幸手市史完結

地道な調査を行いながら、平成6年8月に第1号となる「自然環境編Ⅰ」が刊行され、そしてこの年「通史編Ⅱ」が刊行され完結しました。

7編11冊(特別版1冊、調査報告書10冊)で構成される幸手市史です。

